

新図書館及び地域開放型学校図書館等の検討に係る専門家会議の設置等について

今後予定する中野東中学校等複合施設に設置する図書館（以下、「新図書館」という。）及び学校図書館の充実、地域開放型学校図書館の整備を進めるにあたり、詳細検討を行うために下記のとおり専門家会議、学校図書館検討委員会を設置する。その検討結果を踏まえ、今年度末を目途に運営計画を策定する。

記

1. 新図書館及び地域開放型学校図書館検討に係る専門家会議の設置

（1）設置趣旨

新図書館に期待する課題解決支援型の特色ある蔵書構成、ビジネス支援及び子育て支援にスポットをあてた区民・勤労者の学習や調査研究に資する役割の充実、また地域開放型学校図書館のあり方と地域との連携手法、学校図書館の機能充実により身近な読書環境の向上を目指す等の課題について検討するため、それぞれの分野の専門家による会議を設置する。

（2）構成員

- ①大串夏身氏（専門分野：公共図書館）
昭和女子大学名誉教授 元都立図書館職員
- ②宇陀則彦氏（専門分野：ビジネス支援）
筑波大学図書館情報メディア系准教授
- ③河西由美子氏（専門分野：学校図書館）
鶴見大学教授（文学部ドキュメンテーション学科）
- ④行政職員
ア 指導室長（教育）
イ すこやか福祉センター地域ケア担当副参事（子育て支援）
ウ 子ども教育経営担当副参事（図書館運営）

（3）検討内容等

- ①第1回（6月下旬）
ア 新図書館に求められる基本的機能、サービスのあり方
イ ビジネス支援、子育て支援に係る方向性
ウ 他自治体先進事例及び区施策等の現状と課題
- ②第2回（7月下旬）
ア 学校図書館の現状と充実の方向性
イ 地域開放型学校図書館のあり方と地域との連携
ウ 区立図書館システムと学校図書館システムの連携のあり方

③第3回（8月中旬）

- ア 新図書館における蔵書構成、事業展開
- イ 地域開放型学校図書館等の蔵書構成、事業展開
- ウ 報告（素案）検討

④第4回（9月中旬）

- ア 報告（案）検討

2. 地域開放型学校図書館及び学校図書館の機能充実に係る検討委員会

学校図書館の機能充実を目指した学校図書館システム導入、学校図書館運営委託に向けて、1の専門家会議の設置に併せ、以下のとおり、学校関係者による検討委員会を設置し、より学校の実態に即した制度構築等を図る。

また、小学校については、地域開放型学校図書館運用上の課題、安全対策等についても検討を行う。

(1) 検討テーマ

- ①学校図書館機能充実に伴う課題、要望事項及び既存事業との変更点の整理
- ②教育課程との整合性及び充実の方向性
- ③地域開放型学校図書館の利用形態及び安全対策（小学校）
- ④区立図書館等との連携のあり方

(2) 検討委員会構成（小学校、中学校それぞれに設置）

- ①小・中教研学校図書館研究部 顧問1名 副顧問1名 部長又は部員2～3名
- ②指導主事 1名
- ③子ども教育経営担当副参事 1名

※学校図書館指導員については、検討内容により別途出席等を依頼する。

3. その他の主な検討内容

専門家会議、学校図書館検討委員会における検討の他、他自治体等の先進事例等の調査、ビジネス支援、子育て支援等関係者のニーズ把握、司書教諭、学校図書館指導員等へのヒアリング等を実施し、現状の課題把握や今後のあり方検討等の資料とするとともに、前述の会議・検討委員会の検討資料とする。

- (1) ビジネス支援等に係る先進事例調査（塩尻市図書館、安城市図書館等）
- (2) 区立図書館実態調査、図書館 web サイトアクセスログ等分析
- (3) 学校図書館司書教諭、学校図書館指導員へのヒアリング・アンケート等
- (4) グループインタビュー（ビジネス支援、子育て支援関係者等）
- (5) ICT 機器の活用によるサービス向上の事例調査

4. 今後の検討スケジュール

専門家会議	6月～9月
検討委員会	7月～12月
運営計画（案）の作成	12月
運営計画（案）に関する意見聴取	1月
運営計画の策定	3月